

## 第39期第13回理事会議事録

日 時：2017年6月28日（水）14時20分～18時10分  
 会 場：ちよだプラットフォームスクウェア  
 ミーティングルーム R001（東京都千代田区）  
 出席理事：岩崎俊樹，瀬上哲秀，石原幸司\*，榎本 剛，  
 佐藤正樹，塩谷雅人，高籾 出，竹見哲也，  
 坪木和久\*\*，仲江川敏之\*，平松信昭，藤部文昭\*，  
 山田和孝，渡部雅浩，以上14名

Web 会議システムを通じた出席理事：中村 尚\*\*，  
 廣岡俊彦，堀之内 武，以上3名  
 \*：議題6の途中から欠席  
 \*\*：議題6の途中から出席  
 （理事現在数20名）

出席監事：鈴木 靖，以上1名

その他の出席者：下道，志村，横手（事務局）

### 議 題

1. 第39期第12回理事会議事録の確認
2. 2017年度総会議事録の確認
3. 会員の新規加入等について  
 新入会27，退会7を全会一致で承認した。2017年6月22日現在，会員数3,508名で個人会員は3,266名。
4. 秋季大会交付金の増額について  
 2017年度秋季全国大会の交付金について，北海道支部から150万円の増額申請があり，全会一致で承認した。
5. 業務執行理事の報告

企画調整（副理事長）…以下の報告があった。

- ・小倉先生からの寄付金を，指定正味財産として受け入れ，名称を小倉義光・正子基金（略称：小倉基金）とすること，先生のご意思を尊重し，「研究の奨励，援助および研究業績の表彰」事業に使用することを全会一致で承認した。
- ・学会運営改善検討部会の第1回会合を実施したことが報告された。

気象災害（副理事長）…以下の報告があった。

- ・11月26，27日に内閣府主催の防災推進国民大会が開催される。防災学術連携体は「衛星」をテーマに団体別セッションに申請しており，認められれば，気象学会としてもプレゼンなどの対応を検討していることが報告された。

庶務（庶務担当理事）…以下の報告があった。

### 1) 転載許可

①申請者：(株)プランニング松元

転載元：第2図，大沢綱一郎・尾崎康一，1957：  
 諫早方面の大水害について，天気，4，9，7-13.

転載先：「諫早大水害60年写真集・体験談」，部数約300部，平成29年7月，国土交通省長崎河川国道事務所刊行予定

②申請者：一般財団法人気象業務支援センター

転載元：Fig.2, Adachi, T. *et al*, 2016: Rapid Volumetric Growth of Misocyclone and Vault-Like Structure in Horizontal Shear Observed by Phased Array Weather Radar, SOLA, 12, 314-319.

転載先：気象年鑑2017版，部数1500部，平成29年7月，（一財）気象業務支援センター刊行予定

### 2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：可視化情報全国講演会（室蘭2017）

主催：一般社団法人可視化情報学会

期日：2017年11月3日～4日

場所：室蘭工業大学（北海道室蘭市水元町27-1）

名義：協賛

②名称：2017年度「日本ヒートアイランド学会第12回全国大会」

主催：日本ヒートアイランド学会

期日：2017年7月28日～30日

場所：首都大学東京南大沢キャンパス 国際交流会館

名義：協賛

③名称：第31回数値流体力学シンポジウム

主催：一般社団法人日本流体力学学会

期日：2017年12月12日～14日

場所：京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス

名義：協賛

### 3) その他

5月26日 2017年度総会

6月27日 2016年度事業報告等書類を内閣府へ提出  
 会計（会計担当理事）…

2017年5月分の収支及び現預金検査報告。

### 6. 委員会からの報告

講演企画…以下の報告があった。

- ・大会予稿集の電子版の販売について、販売方法、料金、不正防止対策について検討を行った。
  - ・春季大会参加者を対象としたアンケート結果についての報告。
- 天気…Vol.64 No. 6 (2017年6月号)の掲載記事と、Vol.64 No. 7～9 (2017年7～9月号)の予定記事の報告。
- 気象集誌…以下の報告があった。
- ・研究を本務とする機関に所属しない投稿者からの掲載料免除申請を承認したことが報告された。
  - ・オープンアクセスへの移行について、SOLAと形式を揃えて提案することが報告された。
- SOLA…論文査読状況の報告。6月20日時点で投稿論文数が47編、公開論文数が21編、印刷中が4編であり、2016年よりは少ないものの、投稿数が増えていることが報告された。
- 表彰…以下の報告があった。
- ・堀内賞、正野賞、山本賞受賞候補者の推薦について、各賞の推薦委員会より候補者が提示され、推薦理由についてチェックを行った。今後、全理事の投票により受賞者を決定する。
  - ・奨励賞受賞候補者の推薦について、推薦委員会より候補者が提示された。推薦理由を確定の後、全理事の投票により受賞者を決定する。
- 学術…以下の報告があった。
- ・評議員会の議論結果について、7月に開催される衛星シンポジウムの内容を確認しながら進めることが報告された。
  - ・気象研究コンソーシアムのデータ利用部会の検討状況の報告。
- 教育と普及…以下の報告があった。
- ・公開気象講演会のポリシーを検討する必要があることが報告された。
  - ・夏季大学の進捗状況
  - ・ジュニアセッションの開催報告。場所の確保等、運営の負担が大きいことが報告された。
  - ・女子中高生夏の学校の準備状況の報告。
  - ・気象教育懇談会の実施報告。天気にも報告を掲載する。
- 国際学術交流…10月23、24日に釜山で開催されるACM2017について報告があった。
- 電子情報…学会 Web の充実のため、英語サイトの充実と理事会で認められたVPS導入について進めていることが報告された。
- 人材育成・男女共同参画…優秀な発表を行った学生に対する顕彰について、準備部会から賞の目的、進め方についての案が共有され、これについて検討を行った。

平成29年7月31日

公益社団法人日本気象学会

理事長 岩崎 俊樹  
 監事 鈴木 靖